

開南大學 96 年度第 1 學期 應用日本語學系、所 科目教學計劃表

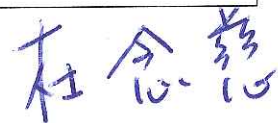
課程編號	354030271	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選修	授課教師： 杜念慈 老師 開課系所： 應用日本語 學系 年級班別： 3年 A班
班次	3A1		
課程名稱(中文)		學分數	課程名稱(英文)
高級日語(上)		4	Advanced Japanese
教學目標 與內容	<p>教學目標は、日本語の「聞く・話す・読む・書く」の四技能と「訳」の技能を合わせ、五技能の総合的養成をめざすものである。「聞く・話す・読む・書く・訳」の五技能の養成は次のとおりである。日本語は、「読む」「聞く」「話す」「書く」、そして「訳」を習得させる順番でしっかり身につけてもらいたい。</p> <p>【受講生に対する希望】初回には必ず出席する者。自己認識をしたい者。遅刻入室及び途中退室は原則として認めない。講義への「参加」を重視する授業であることを忘れないこと。「参加」とは授業で質問や意見を提出することでコミットすることであって、その場にいたことではない。</p>		
實施方法	講義形式が中心ですが、グループワーク、プレゼンテーション、討論といった形態も導入する。◆朗読法。◆討論法(ディスカッション)。◆読解法。◆演習法。		
評量方式	<p>成績評価は、レポートの質と授業への参加状況で行う。出席自体は評価の対象とならないが、授業内容に関する質問・意見は授業に対する参加・貢献として評価に加えることがある。</p> <p>◆50%(平常点、ノートの提出、メールのやりとり等) ◆25%(中間レポート) ◆25%(期末試験)</p>		
授課使用及 参考書籍	<p>(請按作者、書名、版別、出版商、發行地、出版年份、起訖頁數順序填寫)。</p> <p>テキストについては講義の際に提示します。参考テキストなどの文献資料の場合、プリントを配布します。</p> <p>【使用テキスト】 小柳昇著『ニューアプローチ中上級日本語 [完成編]』宇田出版社、2003。 <参考テキスト等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、http://news.tbs.co.jp/ : TBS News i。 2、水谷信子『総合 日本語中級』凡人社、2001。 3、水谷信子『中級日語綜合讀本』階梯股份有限公司、1994。 4、目黒真実著『機能別に学ぶ日本語表現文型文法総合問題集-2 級対応編-』尚昂文化、2005。 5、目黒真実著『機能別に学ぶ日本語表現文型文法総合問題集-1 級対応編-』尚昂文化、2005。 6、http://www.asahi.com/paper/column.html : 朝日の天声人語。 7、http://www.nhk.or.jp/kdns/ : 週刊こどもニュース。 9、『中国語ジャーナル』『日本語ジャーナル』株式会社アルク。 10、『月刊日本語』株式会社アルク。 		

科目簡介(含課程大綱及教學進度)：	
第 1 週目 オリエンテーション 第 1 課 主題・対象を示す	第 10 週目 第 6 課 言い換える・まとめる
第 2 週目 第 1 課 主題・対象を示す	第 11 週目 第 6 課 言い換える・まとめる 第 7 課 事柄を加える(2)
第 3 週目 休日 第 2 課 時・場面を示す(1)	第 12 週目 第 7 課 事柄を加える(2)
第 4 週目 第 2 課 時・場面を示す(1)	第 13 週目 第 8 課 時・場面を示す(2)
第 5 週目 第 3 課 事柄を並べる	第 14 週目 第 8 課 時・場面を示す(2) 第 9 課 因果関係を示す
第 6 週目 第 3 課 事柄を並べる 第 4 課 対象を限定・特定する/しない	第 15 週目 第 9 課 因果関係を示す
第 7 週目 第 4 課 対象を限定・特定する/しない	第 16 週目 第 10 課 逆接のつながりを示す(1)
第 8 週目 第 5 課 事柄を加える(1)	第 17 週目 第 10 課 逆接のつながりを示す(1) 第 11 課 条件を示す
第 9 週目 第 5 課 事柄を加える(1) 中間テスト	第 18 週目 第 11 課 条件を示す 期末テスト
説明：	
1. 授課教師於學期前填寫本表，經課程委員會審核後，影印分送給教師所屬課程委員會召集人，授課班級所屬系、所及教務處課務組；並於開始上課時，將本內容向學生說明。	
2. 本表於 91.4.23 第四次校課程委員會討論通過。	

課程委員會召集人：

授課教師：


 應日
系主任 余金龍


 在念慈


 課務組
96.9.20
收文章